



平成28年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号：2395 東証一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL:03-5565-6216)

営業外費用及び特別損失の計上について

平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）において、下記の通り、営業外費用及び特別損失を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成28年3月期において、昨今の為替相場の変動により、営業外費用に為替差損583百万円（連結決算、個別決算では574百万円）を計上いたしました。これは、主に平成28年3月期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上について

平成28年3月期において、持分法適用関連会社3社の業績に基づき、持分法による投資損失1,011百万円を計上いたしました。

3. 特別損失の計上（投資有価証券評価損）について

平成28年3月期において、当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落しその回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損59百万円を、連結決算及び個別決算において特別損失に計上することといたしました。

4. 特別損失の計上（個別決算）について

平成28年3月期において、当社が保有する関係会社株式のうち、時価が著しく下落しその回復があると認められないものについて、減損処理による関係会社株式評価損49百万円を特別損失に計上することといたしました。また、当社の連結子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも当該子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、健全性の観点から関係会社貸倒引当金繰入額307百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額については、いずれも連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

5. 業績に与える影響

上記の営業外費用及び特別損失の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上